

附属中だより



令和4年4月
第1号

デジタルからグローバルへ

令和3年度、「デジタル・ファースト」を目標に掲げ、ICT機器を活用した授業や「情報」の授業、校務のデジタル化などを推進してきました。おかげさまで、中学でも高校でもコンクールで全国優勝を果たすなどの成果を収めることができました。

令和4年度は「グローバルシチズンシップ」を軸に、多くの価値観に触れ、多様性を受け入れ、社会貢献を考える教育を進めて参ります。トルコから交換留学生を受け入れる予定もあり、言語や文化だけでなく、世界平和を考えるよい機会になると考えています。

変化の大きな社会に対応できる人材育成のため、今年も竜一は歩みを進めていきます。

3学年勢揃い！

4月7日（木）、40人の新生を迎え、ついに3学年が揃って新年度がスタートしました。緊張の面持ちの1年生。後輩を前に、手本になろうと背筋の伸びた2年生。視線はすでに高校に向いている3年生。4月に抱く思いは、各学年それぞれ違いますが、3学年揃ったことで学校として、個人としての可能性をさらに広げていきたいと思っています。



大きめの制服に身を包み、新しい一歩を踏み出した1年生。

新2年生大活躍 ～対面式～



お互いの話を真剣に聞いています。

在校生が新生を迎える対面式。昨年度から始まった行事ですが、1年生に附属中の生活に早く慣れてほしいという願いを込めて、新2年生が1年生の2月から企画を考えてきました。

4月8日の午後に体育館で開催された対面式。第1部は校長先生のお話に続き、吹奏楽部による歓迎の演奏、その後は、2年生がパワーポイントを駆使して学習、生活、部活動についての説明や紹介をしました。1年生はスライドに見入って真剣に聞き、そんな1・2年生を3年生が見守るという、温かな雰囲気が体育館を包んでいました。

第2部は、1年生が同級生だけでなく、上級生とも早く仲良くなれるようにと、2年生手作りの「すごろくトーク」で親睦を深めました。3学年混合のグループで「行ってみたい国はどこ？」や「小さい頃本当だと思っていた嘘は？」など、すごろくの指示に答えるだけでなく、「なんで？」と質問したり、「あ、私と同じだ！」と相づちを打ったりしているうちにどんどん会話が広がり、予定時間を延長するほどでした。はじめは硬い表情だった1年生も終わりには笑顔で2・3年生と話すことができました。

新3年生の背中を見て育ってきた2年生が、「私たちも先輩にお世話になったので、1年生にも同じようにしてあげたいんです。」と、企画、会場設営、進行、片付けまで取り組んだ対面式。片付けを終えた2年生の顔には、3年生の力を借りずに大きな行事を成功させた自信と、上級生となった責任感に満ちあふれていました。

4月のスナップから

↓ 多くの方に見守られての入学式。



↑ 対面式の実行委員。企画力が飛躍的に伸びました。

↓ 中学校生活に興味津々です。



↑ 早速chromebookを使って授業です。

小学校の先生方へ

令和4年度が始まりました。新型コロナウイルス感染対策をしながらの入学式も3回目。3年前とは世の中の動きもずいぶんと変わってきました。本校でも「欠席しますが、授業はリモートで参加します。」という連絡が当たり前になってきています。

昨年は、近隣の小学校にお伺いしようと思っていた矢先にデルタ株が猛威を振るいはじめ、結局、入試のご説明も卒業生の様子もお伝えできないまま令和4年度の適性検査を迎えるに至りました。

今年度は、感染対策を十分に行いながら、小学校にお伺いするとともに、できれば、小学校の先生方にも本校においでいただき、生徒の様子をご覧いただければと考えております。また、昨年度から始めた「母校訪問」を今年度もお願いできればと思っております。訪問の際には、事前にご連絡を差し上げますので、ご協力いただければと存じます。

お問い合わせ・ご連絡

竜ヶ崎第一高等学校附属中学校 0297-62-2146 (教頭 内川)